

令和 7 年度 シニア選手権 競技要領

期日	：	令和 7 年 10 月 5 日(日)	1 次予選	(16名選出)
		令和 7 年 10 月 12 日(日)	2 次予選	(8名選出)
		令和 7 年 10 月 19 日(日)	準々決勝	(4名選出)
		令和 6 年 10 月 26 日(日)	準決勝	(2名選出)
		令和 6 年 11 月 2 日(日)	決 勝	

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会2023年ゴルフ規則と、この競技のローカルルール(添付)を適用する。

2. 参加資格

当競技に参加しうる者は倶楽部の会員でハンディキャップ委員会が認めたクラブハンディキャップが 20 以下の者に限る。但し、クラブハンディキャップが無く有効なJGAハンディキャップインデックスにて参加する者は、小数点以下を切り捨てたものをハンディキャップとする。

3. 競技会の形式

1 次予選 : 18ホール(イン→アウト)ストロークプレーで行う。

9ホールプレー終了後に休憩とする。

2 次予選 : 18ホール(アウト→イン)ストロークプレーで行う。

9ホールプレー終了後に休憩とする。

準々決勝・準決勝 : 18ホールのマッチプレーで行う。9ホールプレー終了後に休憩とする。

決 勝 : 27ホールマッチプレーで行う。(2名1組1車、カート運転手付き、パスあり)

18ホールプレー終了後に休憩とする。

休憩はラウンドに含まれる。

4. 競技の短縮

コース状態により、適正なプレーが不可能と判断した時は、競技に定めているホール数を短縮し、順位を決定する場合、及び競技を中止する場合がある。

5. 使用TEE

ブルーTEEとする。

6. スコアカードの入力と提出

1次予選及び2次予選時、プレーヤーはスコアをナビゲーションに入力し、ラウンド終了後、速やかにアウトブットされたスコアカードにサイン(アテストも含む)し、委員会に提出しなければならない。

準々決勝から決勝時については、マッチのスコアカードにサイン(アテストも含む)し、ラウンド終了後、速やかに委員会に提出しなければならない。

定められたスコアリングエリアを出るまではプレーヤーはスコアカードの変更が認められる。

7. 順位、及びタイの決定方法

- 1次予選：グロススコアの上位16名が1次予選通過で2次予選に進める事とする。同スコアの場合は、マッチングスコアカード方式(*)にて決定する。
 - * マッチングスコアカード方式：最後の10番～18番のスコア、13番～18番のスコア、16番～18番のスコア、18番のスコア、それでも決まらない場合は1番～9番のスコア、4番～9番のスコア、7番～9番のスコア、9番のスコアの順に比較して決定する。
- 2次予選：1次予選と2次予選の合計36ホールのグロススコアの上位8名が2次予選通過で準々決勝に進める事とする。同スコアの場合は、2次予選のグロススコアに基づいて順位を決定する。
2次予選のグロススコアが同スコアの場合は、マッチングスコアカード方式(*)にて決定する。
 - * マッチングスコアカード方式：最後の10番～18番のスコア、13番～18番のスコア、16番～18番のスコア、18番のスコア、それでも決まらない場合は1番～9番のスコア、4番～9番のスコア、7番～9番のスコア、9番のスコアの順に比較して決定する。
- 準々決勝から決勝：「3. 競技会の形式」で規定されたホールのマッチプレーでそれぞれ勝者を決定する。
マッチプレーは勝敗がついた時点で競技は終了となりそれ以降のプレーは禁止される。
規定ホール数で決着がつかない場合は、スタートしたホールからエキストラホールのサドンデス方式で勝者を決定する。

※競技が中断され、その後再開されなかったり、再開されてもホールが短縮された場合

- 1次予選：最小消化ホールのスコアで順位を決定、同スコアの場合は、カウントバックで決定する。
1次予選が中止された場合は、競技は延期される。
- 2次予選：最小消化ホールのスコアと1次予選のスコアの合計で順位を決定する。同スコアの場合は、2次予選のグロススコアに基づいて順位を決定する。2次予選のスコアが同スコアの場合は、カウントバックで決定する。
- 準々決勝から準決勝：中断、もしくは短縮されたホールまでのマッチの結果で勝者を決定する。
タイの場合は2次予選上位者を勝者とする。
- 決勝：中断、もしくは短縮されたホールまでの結果で勝者を決定する。
タイの場合は、委員会が勝敗の方法を決定する。(アプローチ競技等)

8. 競技終了時点

本競技は、成績がボードに全て記載された時点をもって終了したものとす。